

ランドマーク 狂言

みなと
みらいで
まなぶ
楽しむ



すっば
茂山千五郎



中国方の者
茂山茂

撮影：桂秀也

一流の演者を迎えて、伝統芸能の魅力に迫ります。
初心者にもわかりやすいレクチャー付き。

令和8年 3月11日(水)
ランドマークホール (ランドマークプラザ5F)
19:00開演 18:30開場/20:00頃終演予定

入 場 料：2,000円(全席指定)

チケット発売：[一般発売]令和7年12月22日(月)正午より

[LINE友だち会員先行]12月15日(月)正午～12月18日(木) ※WEBのみの受付 LINEアカウント/@162ttxgc

チケット購入：[TEL]050-3092-0051(カンフェティ平日10:00～17:00) [WEB]<https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>

お 問 合 せ：OTABISHO 横浜能楽堂 横浜市西区みなとみらい2-2-1 ランドマークプラザ5階 [TEL]045-263-3055

主 催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

ちゃつぽ

「茶壺」

出演：茂山千五郎 ほか
ミニレクチャー/茂山千之丞

ウェブサイトは
こちら



ランドマーク狂言 「茶壺」

狂言は、歌舞伎や文楽よりも古く、600年以上前から能と一緒に演じられてきた日本の古典芸能のひとつ。
こっけいなセリフとしぐさが特徴で、
中世庶民の日常を綴った物語のなかに、
現代にも通じる人間の普遍的な姿が描かれています。
今回の公演では、狂言や上演演目の見どころについて、
最初に狂言師が実演付きでわかりやすく解説。
鑑賞も含めて全体で1時間程度と、
初めてでも飽きずにお楽しみいただける内容となっています。
出演は、親しみやすい狂言をめざす、京都の名門・茂山千五郎家。
人のよい田舎者がすっぱ(詐欺師)にだまされる様子を軽妙に描いた、
狂言の入門として人気のある「茶壺」をお送りします。

演目

ミニレクチャー／茂山 千之丞

狂言 茶壺(大蔵流)

シテ(すっぱ)	茂山 千五郎
アド(中国方の者)	茂山 茂
アド(目代)	島田 洋海
後見	茂山 千之丞

狂言「茶壺」について

とがのお
梅尾で茶を買い求めてきた中国方の者が
酒に酔って道で寝込んでしまうと、通り
かかったすっぱがその茶壺を横取りしよ
うと企みます。目代の前でその所有を争
いますが…。壺をめぐる掛け合いが愉快
な一曲です。

主な出演者プロフィール



茂山千五郎

【しげやま せんごろう】

大蔵流茂山千五郎家十四代目当主。1972年生まれ。3歳で初舞台を踏み、『三番三』『釣狐』など数々の大曲を抜く。『茂山狂言会』や兄弟会『傳之会』をはじめ、多彩な企画や他ジャンルとの共演を通じて、幅広い世代へ狂言の魅力を伝えている。2016年、十四世茂山千五郎を襲名。



茂山千之丞

【しげやま せんのじょう】

1983年生まれ。3歳で『魔法使いの弟子』にて初舞台、狂言『以呂波』で初シテを勤める。若手育成や新作狂言に取り組むほか、国内外での公演や他ジャンルとのコラボレーションも精力的に行う。英語が堪能なバイリンガル狂言師としても活動。2018年、三世茂山千之丞を襲名。

横浜能楽堂について

JR桜木町駅から徒歩約15分の掃部山公園に隣接し、築約150年の能舞台を有する能・狂言の専用劇場。2026年6月まで、大規模改修により休館中。休館中はランドマークプラザ5Fに仮拠点「OTABISHO 横浜能楽堂」を開設。能・狂言に関する情報発信やミニ展示、グッズ販売等を行っています。2026年3月クローズ。

画像上：横浜能楽堂 本舞台
下：OTABISHO 横浜能楽堂



交通のご案内

ランドマークホールの詳しいアクセスはこちら
<https://landmarkhall.jp/access/>



【電車利用】

桜木町駅(JR・市営地下鉄)下車《動く歩道》利用で徒歩5分
みなとみらい駅(地下鉄 みなとみらい線)下車 徒歩3分

【バス利用】

美術の広場前(141系統)下車 徒歩3分

※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。 ※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。 ※公演中止の場合に旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。